

6 多様なタイプの学校の紹介

東京都教育委員会は、生徒一人一人の能力や適性、興味・関心、進路希望等に応じて学ぶことができるように、既設の学校の特色化や多様なタイプの都立高校の開設を進めてきました。

都立高校は、従来からある学校を含めて、生徒の皆さんの希望に応えられる、魅力ある学校づくりの実現に向け努力しています。

都立高校の詳しい教育活動については、各学校のホームページで見ることができますので、活用してください。

(都立高校検索サイト <http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/school/index.html>)

(1) 特色ある教育活動を行う学校

進学指導重点校

Q:「進学指導重点校」とは、どのような学校ですか？

A: 難関国立大学や国公立大学医学部医学科への進学を実現するために必要な学習に取り組む学校です。

進学指導重点校は、将来の日本のリーダーとなり得る高い資質をもった生徒に対し、国家や社会に対する責任と使命を自覚させるとともに、思考力、判断力、表現力を鍛え、難関国立大学等への進学希望も実現させるため、組織的・計画的に進学対策を推進し、都立高校全体をけん引する役割をになっています。

東京都教育委員会では「進学指導重点校が満たすべき選定基準」を定めた上で、各学校における生徒の学力の伸長度や、各学校の取り組みの状況などを総合的に勘案して「進学指導重点校」を指定し、様々な支援を行っています。

☆進学指導重点校の特徴☆

(1) 進学実績の向上に向けた取り組み

- ・ 難関国立大学等への進学に対応した教育課程の編成
- ・ 自校作成問題による実力テストの実施
- ・ 土曜日や長期休業日等の補習・講習
- ・ 自習室の開放 等

(2) 豊かな人間性や社会性を育む取り組み

- ・ 学校行事や部活動の充実
- ・ 卒業生や各界の有識者による講演会
- ・ 生徒同士の関わり合いの重視 等

《進学指導重点校に指定されている学校》

指定期間：平成25年4月から平成30年3月まで

- | | |
|--------|---------|
| ○日比谷高校 | ○戸山高校 |
| ○西高校 | ○八王子東高校 |
| ○青山高校 | ○立川高校 |
| ○国立高校 | |



＜戸山高校＞

(上) スーパーサイエンスハイスクール研究発表会

(下) 自習室

進学指導特別推進校

Q：「進学指導特別推進校」とは、どのような学校ですか？

A：国公立大学や難関私立大学等への進学を実現するために必要な学習に取り組む学校です。

進学指導特別推進校は、生徒の進学希望に応えられるよう、学力向上に向けた進学指導を推進しています。将来の日本社会を支える高い資質をもった生徒の能力を一層伸長させ、国公立大学や難関私立大学等への進学希望を実現させるため、進学指導体制を充実し、安定的な進学実績の確保に取り組んでいます。

東京都教育委員会は、過去の進学実績、進学指導に対する取り組み状況を総合的に勘案して「進学指導特別推進校」を指定し、様々な支援を行っています。

☆進学指導特別推進校の特徴☆

- ・ 国公立大学や難関私立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程の編成
- ・ 習熟度別授業や進路に関する個別相談
- ・ 土曜日や長期休業日等の補習・講習
- ・ 自習室や図書館の開放時間の延長

《進学指導特別推進校に指定されている学校》

指定期間：平成25年4月から平成30年3月まで

- | | | |
|--------|--------|-------|
| ○小山台高校 | ○駒場高校 | ○新宿高校 |
| ○町田高校 | ○国分寺高校 | ○国際高校 |



＜新宿高校：英語の授業＞

進学指導推進校

Q：「進学指導推進校」とは、どのような学校ですか？

A：進学指導推進校では、生徒の進学希望を実現するため、優れた教育活動を実践するとともに、生徒の着実な学力の伸長を図り、進学実績の向上に取り組んでいます。

東京都教育委員会は、進学対策を進める都立高校の裾野を広げるため、全都的な配置バランス、地域のニーズ、過去の進学実績、進学指導に対する取り組み状況等を総合的に勘案して「進学指導推進校」を指定し、様々な支援を行っています。

☆進学指導推進校の特徴☆

- ・ 国公立大学等を中心とした大学への進学に対応した教育課程の編成
- ・ 1・2年次から大学受験を意識させるための個別面談やガイダンスの定期的な実施
- ・ 土曜日や長期休業日等の補習・講習
- ・ 家庭学習時間の定期的な把握や自習室の開放

《進学指導推進校に指定されている学校》

指定期間：平成25年4月から平成30年3月まで

- | | | |
|--------|---------|---------|
| ○三田高校 | ○豊多摩高校 | ○竹早高校 |
| ○北園高校 | ○墨田川高校 | ○城東高校 |
| ○小松川高校 | ○武蔵野北高校 | ○小金井北高校 |
| ○江北高校 | ○江戸川高校 | ○調布北高校 |
| ○日野台高校 | | |



＜武蔵野北高校：
ICT機器を活用した地理の授業＞

理数アカデミー校

Q:「理数アカデミー校」とは、どのような学校ですか？

A:「理数アカデミー校」は、中高6年間一貫した教育を通して、科学的に探究する能力や態度、科学的な感性・創造性、課題を解決する能力、論理的思考力を育成することを目的として、教育活動を展開していく学校です。また、大学や研究機関と連携した最先端の実験・講義や探究活動などを通して、理数に対する興味・関心や理数に秀でた能力の一層の伸長を図り、将来科学技術で世界をリードする人材を育成しています。

さらに、学校設定教科科目である「探究未来学」をベースに、複数学年において、探究活動を展開し、その中で、生徒には『考える力』を身に付けていくことを強く求めています。そして、全ての授業で、この「探究未来学」で育成していく『考える力』を更に強固にしていく取り組みを進めています。

☆理数アカデミー校の取り組み

- ・ 研究発表やグループディスカッションなどアクティブ・ラーニング型の授業の展開
- ・ 学校設定教科科目「探究未来学」をベースに探究活動を展開
- ・ 大学教授や研究者等による研究への支援
- ・ 各種科学コンテストや各種科学オリンピック等への参加 等

《理数アカデミー校に指定されている学校》

指定期間：平成28年度から

○富士高校・富士高校附属中学校



＜科学探究部による科学実験＞

理数イノベーション校

Q:「理数イノベーション校」とは、どのような学校ですか？

A:「理数イノベーション校」は、大学や研究機関と連携し、最先端の実験や講義を通して、理数に秀でた能力の伸長を図るための取り組みを積極的に行っている学校です。また、大学や研究機関と連携し、探究活動を行い、その研究成果を校内及び校外での研究発表会等において発表するといった取り組みを進めています。

☆理数イノベーション校の取り組み

- ・ 探究活動の実施
- ・ 大学や研究機関との連携
- ・ 各種科学コンテストや各種科学オリンピック等への参加 等

《理数イノベーション校に指定されている学校》

指定期間：平成27年度から平成29年度まで

○八王子東高校 ○南多摩中等教育学校 ○国分寺高校



＜南多摩中等教育学校：海藻の標本作り＞



＜八王子東高校：研究成果発表会での発表＞

理数研究校

Q:「理数研究校」とは、どのような学校ですか？

A:「理数研究校」は、理数に興味をもつ生徒の裾野を広げるとともに、都立高校における特色ある教育活動を積極的に行う学校です。大学等と連携して探究活動などを行ったり、研究成果をポスターにまとめて、それを基に発表したりするといった取り組みを推進します。

☆理数研究校の取り組み

- ・ 研究活動の実施
- ・ 各種科学コンテスト等への参加 等

《理数研究校に指定されている学校》

指定期間：平成28年度

○江北高校	○葛飾野高校	○六本木高校	○広尾高校
○小石川中等教育学校※		○つばさ総合高校	
○八丈高校	○小笠原高校	○西高校	○調布北高校
○目黒高校	○新宿高校	○世田谷総合高校	
○北園高校	○武蔵丘高校	○農芸高校	○豊島高校
○町田高校	○成瀬高校	○八王子北高校	○立川高校
○府中東高校	○武蔵高校	○小金井北高校	



＜科学の祭典でのポスター発表＞

※ 小石川中等教育学校は、文部科学省から、未来をにう科学技術系人材を育てることをねらいとしたスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けており、理数研究校においてはアドバイザーとしての役割をになっています。

アクティブ・ラーニング推進校

Q:「アクティブ・ラーニング推進校」とは、どのような学校ですか？

A:「アクティブ・ラーニング推進校」は、次の学習指導要領の改訂や大学入試改革の動きを踏まえ、学習する人が主体的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業の研究などを行い、全ての都立高校に向けて成果を発信していく学校です。

☆アクティブ・ラーニング推進校の取り組み

- ・ 校内研修の実施
- ・ 先進的に取り組んでいる高校や大学の視察
- ・ 「アクティブ・ラーニング」の視点に立った授業の研究 等

《アクティブ・ラーニング推進校に指定されている学校》

指定期間：平成28年度から平成30年度まで

○淵江高校	○一橋高校	○六郷工科高校
○城東高校	○第三商業高校	○杉並総合高校
○大島高校	○板橋有徳高校	○田柄高校
○町田高校	○永山高校	○国立高校
○東久留米総合高校	○福生高校	○秋留台高校

チーム・メディカル

Q:「チーム・メディカル」とは、どのような取り組みですか？

A: 医学部への進学を希望する生徒同士で互いに切磋琢磨し^{せつさたくま}支え合うチームを結成し、3年間一貫した育成プログラムの下、希望の実現に向けて取り組むものです。

病院の職場見学や医療関係者との交流、医学部の大学教授による模擬授業など、医療への理解を深め医師になる志を育むプログラムを実施します。

☆チーム・メディカルの取り組み

- ・ 医学部や病院等への見学・体験活動
- ・ 最先端医療に関する講演会
- ・ 医療関係者との交流・模擬授業
- ・ 論文指導 等

《実施している学校》

実施期間：平成28年度から

○戸山高校



＜戸山高校：医師によるキャリア教育講演会＞

東京グローバル10

Q:「東京グローバル10」とは、どのような学校ですか？

A:「東京グローバル10」は次代をになうグローバル人材育成に向けた取り組みを推進する学校です。

外国語によるコミュニケーション能力、異文化理解や適応力、国際貢献への意欲などを高め、将来、国際社会の様々な分野・組織で活躍できる人材の育成に資する取り組みを進めます。

東京都教育委員会は、これまでの外国語教育及び国際交流・国際理解教育における実践や実施体制等を総合的に勘案して10校を指定し、教育環境を整備するなどの支援を行っています。

☆東京グローバル10の特徴☆

- ・ 外国人指導者の重点的な配置
- ・ 海外修学旅行、海外語学研修をはじめとする国際交流の推進
- ・ 英語以外の外国語の学習機会の充実
- ・ 4技能（「聞く」「話す」「読む」「書く」）を測定する外部検定の活用
- ・ 海外大学進学への支援 等

《東京グローバル10に指定されている学校》

指定期間：平成27年度から平成29年度まで

○日比谷高校

○深川高校

○西高校

○国際高校

○飛鳥高校

○千早高校

○小平高校

○小石川中等教育学校

○三鷹中等教育学校

○立川国際中等教育学校

(2) 多様なタイプの専門高校（国際関係に関する学科・科学技術・工業・商業）

国際関係に関する学科

Q:「国際関係に関する学科」とはどのような学科ですか？

A:国際理解教育や英語などの外国語教育を通して、国際社会で活躍できる人材を育成する学科です。

Q:どのような学校がありますか？

A:国際高校（目黒区）と大島海洋国際高校（大島町）があります。

国際高校は、平成元年4月に開校した「国際学科」を設置する高校です。全生徒720名のうち、約3分の1の生徒が海外帰国生徒や在京外国人生徒です。こうした様々な生徒たちが違いを認め合いながら、行事や部活動を通して充実した学校生活を送っています。

大島海洋国際高校は、平成18年4月に開校した「海洋国際科」を設置する高校です。「海を通し世界を知る」という方針の下、「船」、「海洋」、「寄宿舍」という教育環境を生かし、体験型国際教育、海洋教育、寄宿舍を活用した教育指導など特色ある教育を実施しています。

☆国際高校の特徴☆

- ・ 英語などの外国語に加え、様々な国や地域の文化を学ぶことができます。
- ・ 授業では、生徒の活発なやりとりを重視し、ディスカッションやグループワークを取り入れています。
- ・ イングリッシュ・サマーキャンプ、スピーチコンテスト、留学生やインターナショナルスクールとの交流を深める国際交流デーなど、様々な学校行事を行っています。
- ・ 平成27年度から、海外の大学への進学を目指すためのコース「国際バカロレアコース」を設置しています。詳しくは、以下のホームページを御覧ください。

（ホームページ <http://www.kokusai-h.metro.tokyo.jp/HPmaster/ib/index.html>）



<オーストラリア研修旅行>

国際バカロレアとは

- ・ スイスにある国際バカロレア機構が認定した学校で学び、世界共通の統一試験に合格することで、国際的に認められる大学進学資格（フルディプロマ）を取得できる仕組みです。
- ・ この資格は、ハーバード大学やケンブリッジ大学などの名門大学をはじめ、世界中の大学で活用されています。国内でも東京大学や京都大学等ですでに活用されており、また、今後の入試において資格を活用すると発表した大学も増えています。

☆大島海洋国際高校の特徴☆

- ・ 国際航海
2年次に、類型ごとの国際航海を行います。寄港地における国際交流等において、外国の文化に触れるとともに、日本人としてのアイデンティティを高めます。
- ・ 観測航海
3年次に、希望者を対象とした観測航海を行います。東京都沖ノ鳥島周辺海域の海洋観測調査を実施し、海洋観測を通して、海洋環境・海洋政策に関する知識を幅広く学びます。
- ・ ドミトリ（寄宿舍）
大島の豊かな自然に囲まれたドミトリ（寄宿舍）で共同生活を行います。生徒の代表（ブリーフェクト）と寄宿舍専任舎監（ハウスマスター）が話し合いながら、寄宿舍生活を運営しています。



<国際交流(国際航海)>



<沖ノ鳥島周辺海域(観測航海)>



<宅習の時間(ドミトリ)>

科学技術に関する高校

Q：「科学技術に関する高校」とは、どのような学校ですか？

A：科学技術に関する高校は、科学技術を学び、理工系の大学や薬学系の大学へ進学して、将来、スペシャリストとして活躍したいという生徒のための専門教育を行う高校です。

科学技術高校及び多摩科学技術高校は、平成24年度から平成28年度までの期間、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクール（SSH）の指定を受けています。

Q：「科学技術に関する高校」には、どのような特色がありますか？

A：○ 科学や技術への興味・関心が膨らむ実験や実習を重視し、ゼミ形式の授業を導入するなど、実践を通して学習の意味を確認していきます。

○ 各教科における基礎的・基本的な内容の定着を図り、大学進学に向けた学力を充実させるために、放課後や長期休業日に補習を行います。

○ 習熟度別授業を取り入れ、少人数対応のきめ細かい指導を行います。

○ 普通科目と専門科目とのつながりある指導を大切にしています。「科学技術と人間」では、科学技術と人間との関わりや地球環境と人類の未来などについて学びます。さらに、生徒の自由な発想を育むために「課題研究」等、総合的に学習する科目を設置しています。

☆科学技術に関する高校の特徴☆

- ・ 高校段階から理工系大学の授業にも対応できるよう、広く科学技術について学んでいきます。
- ・ 実験・実習を通して基礎から科学技術を学び、確かな学力の向上につながるよう工夫した授業を行います。
- ・ 国公立大学の理工系の各学部への進学に備えた選択科目を設置しています。

《開設している高校》

○科学技術高校 ○多摩科学技術高校



＜多摩科学技術高校：科学技術の探究＞

（38ページにも、専門高校（科学技術）の説明があります。）

デュアルシステム

Q：「デュアルシステム」とは、どのようなシステムですか？

A：一定の期間、企業で就業訓練を行うことで、卒業後にも役立つ実践的な技術・技能を身に付けるシステムです。企業での長期間の就業体験を実習の授業とみなし、単位として認定します。

企業と生徒双方の合意により、就業訓練先の企業に就職することが可能です。

《デュアルシステム科設置校》

○六郷工科高校

- ・ デュアルシステム科を設置しています。
- ・ デュアルシステム科の生徒全員が、1年次でインターンシップ、2・3年次で長期就業訓練（1回1か月を年2回）を行います。

《機械科や建築科などで希望する生徒を対象にデュアルシステムを実施する学校》

○葛西工業高校 ○多摩工業高校

○北豊島工業高校 ○田無工業高校

- ・ 希望者が、インターンシップを経験した後に、2年次や3年次において、企業での週1回程度の就業訓練などを行います。

（38ページにも、専門高校（デュアルシステム）の説明があります。）

Q：「進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）」とは、どのような学校ですか？

A：進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）は、ビジネスに関して必要な基礎的・基本的な知識・技能を習得し、将来、国際社会で活躍できるスペシャリストを育成するために、大学等に進学し、継続して学習することを前提とした新しいタイプの専門高校です。

特に、英語とビジネス科目に重点を置いています。

Q：「ビジネスコミュニケーション科」とは、どのような学科ですか？

A：ビジネスに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得することにより、経済社会の発展に寄与し、国際社会で活躍できる将来のスペシャリストを育てます。

- 英語多読・多聴などを行い、英語によるコミュニケーション能力を身に付けます。
- 英語による活動や異文化体験を通じて国際理解を深めます。
- コンピュータを駆使し、情報の発信能力を身に付けます。
- 経済の仕組みを学び、会計に関する活動을適切に行う能力を身に付けます。
- 進路実現に向けた多様な選択科目があります。

☆進学型専門高校（ビジネスコミュニケーション科）の特徴☆

- ・ 経済の仕組み、世の中の仕組みについてビジネス科目を通して学びます。また、情報処理を通じてコンピュータの使い方等について学ぶことができます。
- ・ 進学講座（国語・英語）、資格取得講座（日本商工会議所の簿記検定等）があります。



＜英語多読・読み聞かせ＞

《開設している高校》

○千早高校

- ・ 「役立つビジネスを社会から学ぶ」ため、地域や企業、大学やNPO等と連携を図りながら、「コミュニティデザイン」や「ソーシャルビジネス」の授業でフィールドワーク等を行い、実社会における課題解決能力やプレゼンテーション能力の向上を図っています。
- ・ 「使える英語を楽しく学ぶ」ため、「ERP（多読と発表）」の授業のほか、イングリッシュキャンプや海外英語ビジネス研修旅行（修学旅行）、英国夏季語学研修等において授業で学んだ英語を実際に活用し、コミュニケーション能力を育成します。

○大田桜台高校

- ・ 英語のほか、国語教育を重視し、小論文指導、書評大会や日本の伝統・文化理解教育に力を入れています。また、言語能力向上拠点校に指定され、読書活動の充実やプレゼンテーション能力の向上を図っています。
- ・ 「キャリアデザイン」、「東京の経済」、「プレゼンテーション技術」等の豊富な学校設定科目を学ぶことにより、3年間を通じて体系的・計画的にキャリア教育を行います。



＜千早高校：イングリッシュキャンプでの発表＞



＜大田桜台高校：平安装束を着る会＞

（40ページにも、専門高校（ビジネスコミュニケーション）の説明があります。）

(3) 多様なタイプの高校

総合学科高校

Q:「総合学科高校」とは、どのような学校ですか？

A:総合学科高校は、国語や理科などの普通科目から、工業や商業、情報や美術などの専門科目まで、自分の興味・関心や進路希望に応じて幅広く学べる学校です。

Q:「総合学科高校」には、どのような特色がありますか？

A:○ 入学年次にて全ての生徒が「産業社会と人間」を履修し自己の進路への自覚を深め、社会ルールや職業と生活について学ぶとともに、選択科目や進路についてガイダンスを行います。

○ 生徒の個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや達成感を体験します。普通科目から専門科目にわたる幅広い科目を設置しているので、自分の個性を生かした主体的な選択ができ、実践的・体験的な学習ができます。

○ 「産業社会と人間」や「多様な選択科目」の履修により、「何をやりたいのか」、「何に向いているのか」、「何ができるのか」をじっくり考えながら、自らの将来の進路を探索します。

○ 総合学科高校では、各学校に「系列」を設置しています。「系列」は、将来の職業や進路希望に合わせて、自由に選択することができます。

Q:「系列」とは、どのようなことですか？

A:「系列」とは、まとまりのある学習を可能にするとともに、進路希望に沿った科目履修ができるように、体系的・専門性を考慮し、相互に関連する科目によって構成する科目群のことをいいます。

学校名	系 列（平成28年5月現在のものであり、変更になる場合があります。）					
晴海総合	社会・経済	国際ビジネス	語学コミュニケーション	自然科学	情報システム	芸術・文化
つばさ総合	国際・コミュニケーション		美術・デザイン	科学・技術	スポーツ・健康	生活・福祉
杉並総合	人間・社会	ビジネス	国際コミュニケーション		科学・環境	メディア・文化
若葉総合	人間探究		伝統継承		情報交流	芸術表現
青梅総合	文科・理科	生命・自然	環境・資源		食品・健康	生活・福祉
葛飾総合	国際コミュニケーション		環境サイエンス	情報メディア	メカトロニクス	スポーツ福祉 生活アート
東久留米総合	人文科学	自然科学	情報ファイナンス	スポーツ科学	看護福祉	美術デザイン
世田谷総合	社会・教養	国際・文化理解	環境・サイエンス	情報デザイン	ライフデザイン	ものづくり
町田総合	暮らし（生活全般）		ひと（心理・看護・福祉・芸術）		自然（環境学・言語）	まち（ビジネス・情報）
王子総合	メディア・ネットワーク		ビジネス・コミュニケーション		工業・デザイン	伝統文化・工芸 スポーツ・健康



＜杉並総合高校：
総合学科高等学校教育活動報告会における
国際ボランティア活動報告の様子＞

※上記のほか、チャレンジスクール（26ページ参照）も総合学科高校です。

Q:「単位制高校」とは、どのような学校ですか？

A:単位制高校は、決められた科目を学ぶだけではなく、多くの科目の中から、自分の興味・関心や進路希望に応じた科目を選んで、学べる学校です。

Q:「単位制高校」には、どのような特色がありますか？

A:○ 幅広い選択科目を設置しているので、学年の枠にとらわれずに自分の能力・適性、興味・関心、進路等に応じた多様な学習ができます。

○ 自己の進路を探索する機会が得られるので、自らの学習計画に基づいた主体的な学習を行うことができます。

○ 入学年次にかかわらず共通に履修できる科目を設置しており、異年齢間の交流もできます。

Q:どのようなタイプの「単位制高校」がありますか？

A:単位制高校には、次のようなタイプがあります。

- 多様な学習型〈全日制普通科〉
- 進学重視型〈全日制普通科〉
- 専門型〈全日制専門学科、全日制デュアルシステム科、定時制専門学科〉
- 定時制型〈定時制普通科、定時制専門学科〉
- 通信制型

☆単位制高校の特徴☆

【多様な学習型】	【進学重視型】
◎自分で作る時間割 ◎ガイダンスの充実 ◎特色あるたくさんの選択科目	◎大学進学に対応したたくさんの選択科目 ◎充実した補習授業 ◎充実した進路指導

《開設している単位制高校》

【多様な学習型】

- 飛鳥高校 ○芦花高校 ○上水高校
- 美原高校 ○大泉桜高校 ○翔陽高校
- 忍岡高校（普通科） ○板橋有徳高校

【進学重視型】

- 墨田川高校 ○国分寺高校 ○新宿高校

【専門型】

- 六郷工科高校（工業科、デュアルシステム科）
- 忍岡高校（生活科学科）
- 総合芸術高校（音楽科、美術科、舞台表現科）

【定時制型】

- 新宿山吹高校 ○飛鳥高校 ○砂川高校
- 六郷工科高校 ○一橋高校 ○浅草高校
- 板橋有徳高校 ○荻窪高校 ○八王子拓真高校

【通信制型】

- 新宿山吹高校 ○砂川高校 ○一橋高校



＜忍岡高校＞

（上）日本の伝統文化（和太鼓）の授業
（下）生活科学科のファッションショー

※ 上記のほか、総合学科高校（24ページ参照）及びチャレンジスクール（26ページ参照）も単位制高校です。

Q：「チャレンジスクール」とは、どのような学校ですか？

A：チャレンジスクールは、主に小・中学校で学校になじめず不登校の経験があったり、高校で長期欠席等が原因で中途退学を経験したりして、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった生徒が、自分の目標を見付け、それに向かってチャレンジする高校です。

Q：「チャレンジスクール」には、どのような特色がありますか？

A：○ チャレンジスクールは、自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて各時間帯（午前・午後・夜間の三部）を選んで入学する昼夜間の定時制・総合学科・単位制の高校です。

○ 4年間かけて学ぶことを基本としますが、他部の科目の履修により、3年間での卒業も可能です。

○ 国語、数学、英語等では基礎科目を用意し、少人数のきめ細かい指導を通して、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、中学校の復習にも対応します。

○ 体験的な学習を重視し、ボランティア、福祉活動等を授業の一環として行います。

○ 社会生活のルールやマナー、言葉遣いなどに関する学習も行い、コミュニケーション能力や社会性を育てます。

○ ホームルーム活動や相談活動を重視し、先生と生徒の触れ合いや生徒同士の交流を大切にします。

☆チャレンジスクールの特徴☆

- ・ 自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて、学ぶ時間帯を選択できます。
- ・ 学力検査や中学校からの調査書によらず、生徒の学習意欲を重視した入試を行います。
- ・ 基礎・基本を重視した学習を行うとともに、総合学科の特性を生かし、職業系を含めいろいろな専門科目を設置しています。
- ・ ボランティア活動などの体験的な活動を通じて、豊かな人間性を育成します。
- ・ カウンセリングや教育相談の充実など、心のケアに配慮したきめ細かい指導を行います。

《開設している高校》

- 桐ヶ丘高校
- 世田谷泉高校
- 大江戸高校
- 六本木高校
- 穂ヶ丘高校



＜穂ヶ丘高校：（左）進路体験学習（大山千枚田「棚田のあかり」設営）、（右）授業発表会の様子＞

Q：「エンカレッジスクール」とは、どのような学校ですか？

A：エンカレッジ（encourage）とは、「励ます」、「力づける」を意味します。小・中学校で十分能力を発揮できなかった生徒のやる気を育て、頑張りを励まし、応援しながら、勉強や学校行事・部活動などを通して学校生活を充実させる全日制の高校です。

Q：「エンカレッジスクール」には、どのような特色がありますか？

A：○ 生徒一人一人にきめ細かい指導を行うために、二人担任制を導入しています。

○ 1年次には、30分授業を実施し、午前中は座学、午後は体験学習及び選択授業が中心となるように、時間割編成を工夫し、生徒の集中力を維持し、向上させます。

○ 「個に応じた指導と分かる授業の確立」を目指し、少人数制・習熟度別授業を導入しています。

○ 1年次から3年次まで、各学年1単位時間は、キャリアガイダンスの授業を行い、職業観を育てます。また、人としての在り方・生き方などを3年間通して学び、規律正しい生活を重視することで、生徒の意欲と生きる力を育む教育を行います。

○ 多くの人との出会いにより、自らを律し、他者と協調し、他者を思いやる心など、豊かな人間性を育むため、体験学習を重視しています。

○ ものづくりや資格取得など、自分の興味・関心に応じた専門的な学習ができるよう、工業高校も指定しています。

☆エンカレッジスクールの特色☆

＜学校の特色＞	＜授業の特色＞	＜時間割の特色＞
◎学力検査によらない入試 ◎二人の担任できめ細かな指導 ◎試験の点数よりも努力を評価	◎1年次には、集中できる30分授業により、基礎・基本を徹底 ◎少人数制・習熟度別授業によるきめ細かく分かる授業 ◎豊富な体験学習や選択授業	◎キャリアガイダンス ◎選択授業 ◎多彩な体験学習

《エンカレッジスクールに指定されている学校》

- 足立東高校
- 秋留台高校
- 練馬工業高校
- 蒲田高校
- 東村山高校



＜蒲田高校：宿泊体験研修でのリンゴの収穫の様子＞

Q:「産業高校」とは、どのような学校ですか？

A:産業高校は、地域の産業界と連携し、生産（ものづくりの基礎）から流通（ビジネスに関わる企業活動の働き）・消費までの過程における関連性などを、総合的に学習する専門高校です。

Q:「産業高校」には、どのような特色がありますか？

A:○ 我が国で初めての産業科であり、生徒の興味・関心、進路希望に基づいて選択できる多様な専門科目を開設して、社会に貢献する産業人・起業家を育てる新しいタイプの専門高校です。

○ 地域との連携を密にしながら、豊かな人間性と特定の分野に限定されない多様な知識・技術をもつ、産業界の期待に応える人材を育てる専門高校です。

○ 大学等に進学し、更に高度な知識や技術の習得を目指す生徒に対応できる専門高校です。

☆産業高校の特徴☆

- ・ ものづくりやビジネスに関することなど、特色ある産業科目を学びます。
- ・ キャリア教育を計画的に進めます。
- ・ インターンシップや社会人講師による授業など、地域の産業界とのパートナーシップによる教育を重視しています。

《開設している高校》

○橘高校

- ・ 1年次では「ものづくりから流通、販売まで」の基礎を学び、2年次からは多様な選択科目を学習することで一人一人の生徒の進路実現を図ります。
- ・ 卒業後の進路実現に備え、生きた英語力と使えるICT（情報通信技術）力の育成を重視するとともに、インターンシップなどの就業体験等を取り入れた教育課程を編成・実施しています。
- ・ 近隣の商店街で生徒作品の販売を行うなど、産業高校ならではの行事を設定するとともに、放課後や長期休業日等を利用した教科の補習や資格取得に関連する講習を行います。



＜橘高校：「ビジネス実習」の授業＞

○八王子桑志高校

- ・ 専門性を高めるとともに、普通教科にも力を入れ、大学等への進学にも対応した教育課程を編成しています。
- ・ デザイン、クラフト、システム情報及びビジネス情報の分野を設け、高度なスキルの獲得や資格取得を目指しながら体系的な専門教育を行っています。
- ・ 自己の学習意欲や進路希望に合わせて、独自のカリキュラムを組めるように、ガイダンス機能を充実させ、生涯を貫くキャリアをデザインできる教育を行っています。



＜八王子桑志高校：「システム情報分野」の授業＞

（42ページにも、専門高校（産業）の説明があります。）

Q：「新たなタイプの昼夜間定時制高校」とは、どのような学校ですか？

A：新たなタイプの昼夜間定時制高校は、自分のライフスタイルや学習ペースに合わせて、午前・午後・夜間の三つの部の中から選んで入学する定時制・単位制・三部制の普通科高校です。

Q：「新たなタイプの昼夜間定時制高校」には、どのような特色がありますか？

A：○ ホームルーム指導を重視するなど、学年制のよさを残しており、また、職業に関する専門科目を設置するなど、総合学科の特徴も取り入れています。

- 基礎・基本を重視し、習熟度別授業や少人数指導など、多様な指導形態を取り入れています。
- 修業年限は4年を基本としていますが、他部の科目の履修や学校外での学習活動等により、3年で卒業することも可能とする「三修制」を実施しています。
- 学校外での学修の成果を単位認定するなど、単位認定の弾力化を図っています。

授業時間帯などの例	部	時 限	時 間 帯	I 部時間帯	II 部時間帯	III 部時間帯
	I 部	1 限	8:50	必修科目 & 選択科目	選択科目 ↑	
		2 限	～			
		3 限	12:25			
		4 限	(午前)			
	II 部	5 限	13:10	↓ 選択科目	必修科目 & 選択科目	選択科目 ↑
		6 限	～			
		7 限	16:45			
		8 限	(午後)			
	III 部	9 限	17:20	※III部には学校給食が あります。		必修科目 & 選択科目
		10 限	～			
		11 限	21:10			
		12 限	(夜間)			

☆新たなタイプの昼夜間定時制高校の特徴☆

- ・ 午前部・午後部・夜間部の中から自分の所属する部を選び、1日4時限ずつ4年間かけて学ぶことが基本ですが、他の部と合わせて1日に6時限の授業を受けられるため、3年で卒業することもできます。
- ・ 単位制なので、学習の進み具合に合わせて学習計画が立てられます。
- ・ 1学級30人で、習熟度別授業も行いますので、きめ細かい指導が受けられます。
- ・ デザイン、ビジネス、ファッション等の特色ある科目を選択して学ぶことができます。



＜荻窪高校：「日本文化」の授業風景＞

《開設している高校》

- 一橋高校
- 浅草高校
- 荻窪高校
- 八王子拓真高校

※ 上記のほか、新宿山吹高校及び砂川高校も昼夜間定時制高校です。また、新宿山吹高校、砂川高校及び一橋高校では、併設している通信制課程との併修もできます。

Q：都立の中高一貫教育校とは、どのような学校ですか？

A：都立の中高一貫教育校は、6年間の一貫教育の中で、社会の様々な場面、分野において人々の信頼を得て、将来のリーダーとなり得る人材を育成することを目的とした学校です。

Q：都立の中高一貫教育校には、どのようなタイプがありますか？

A：都立の中高一貫教育校には、6年間の一貫教育を一つの学校で行う「中等教育学校」と、都立中学校と都立高校を接続して6年間の一貫教育を行う「併設型」の高校・中学校があります。

このうち、「併設型」の高校には、併設する中学校の生徒全員が進学することができるほか、併設する中学校以外の生徒も、高校段階で受検して入学することができます。

一方、「中等教育学校」は前期課程（中学校段階）と後期課程（高校段階）に区分され、後期課程（高校段階）からの募集は行いません。

なお、既存の都立高校と区市町村立中学校が、連携や様々な交流を行う「連携型の高校・中学校」もあります。

☆都立中高一貫教育校の特色ある教育活動（例）☆

- ・ 日本の伝統文化理解教育・・・学校設定科目として「日本文化」を設置
- ・ 国際理解教育・・・海外修学旅行や短期語学留学など

《高校段階で募集のある都立中高一貫教育校》

- 白鷺高校（併設型）
- 両国高校（併設型）
- 武蔵高校（併設型）
- 富士高校（併設型）
- 大泉高校（併設型）

《連携型の高校・中学校》

- 広尾高校・渋谷区立広尾中学校
- 永山高校・多摩市立諏訪中学校
多摩市立青陵中学校
多摩市立多摩永山中学校
- 芝商業高校・北区立飛鳥中学校
北区立十条富士見中学校
- 蔵前工業高校・台東区立浅草中学校
- 新島高校・新島村立新島中学校
新島村立式根島中学校
- 三宅高校・三宅村立三宅中学校



＜武蔵高校＞

（上）海外語学研修でオーストラリアの伝統工芸を学ぶ様子

（下）ICT を用いた化学実験授業

(4) コースを設置する普通科高校

コースの紹介

Q：普通科コースは、普通科とはどのように違うのですか？

A：普通科の中で、生徒の興味・関心や進路希望に応えられるよう、全ての生徒が履修することになっている基礎的な科目の他に、特定の科目について一般に履修するよりも多く（20から25単位程度）履修できる教育課程で、1年次から、英語や美術など好きな科目を重点的に学ぶことができます。

《コースを設置している学校の主な特色ある教育活動》 （平成28年度入試で募集を行った学校〔コース〕）

○深川高校〔外国語コース〕

A L T（※）及びJ E T（※）による少人数授業、英語合宿、オーストラリア語学研修（希望者）、外国語コース講演会（英語による国際理解に関する講義と質疑応答）、英語以外の外国語（中、独、仏語〔自由選択〕）、英検、G T E C、T O E I Cを受験、全国高等学校生徒英作文コンテスト、東京都高英研主催の高校生英語ディベート・スピーチ大会に参加

○田柄高校〔外国文化コース〕

A L T及びJ E Tによる1クラス2展開の少人数授業、様々な国籍の生徒たちとの日々の多文化交流、「異文化理解」科目の学習、来日した高校生使節団との交流、「留学生が先生」（留学生との交流）、「浅草ウォーキングツアー」（留学生と浅草散策）等を実施

○片倉高校〔造形美術コース〕

アート専攻とデザイン専攻に分かれての選択授業（2年次）、洋画（油絵）・日本画・彫刻・ビジュアルデザイン・クラフトデザインの五つの専攻に分かれての選択授業（3年次）、美術系の授業は全て多展開の少人数授業、学内展覧会（1年次）、学外展覧会（2年次）、卒業制作展（3年次／学外）

○松が谷高校〔外国語コース〕

A L T及びJ E Tによる1クラス3展開の少人数授業、P C L L（パソコン教室及び視聴覚教室）を活用した洋画を教材とする授業、P Cによる英検対策自習プログラム、レシテーション（暗唱）／スキットコンテスト、英語書評合戦、G T E Cを受験、イングリッシュサマーキャンプ、国際理解講演会、国際理解教室、国際交流行事

○小平高校〔外国語コース〕

A L T及びJ E Tによる少人数授業（英、第二外国語）、授業内多読多聴、第二外国語（中、独、仏、韓国語、スペイン語）、アメリカ語学研修、国際ロータリークラブ交流事業、レシテーション（暗唱）・コンテスト、テンプル大学イマージョン・キャンプ、英検、G T E Cを受験（全生徒）、国際交流（海外高校連携・協定9校）、留学生受け入れ（メキシコ、イタリア）、海外修学旅行（台湾）、外部英語ディベート・スピーチ・英作文コンテストへの参加ほか

○五日市高校〔ことばと情報コース〕

「日本語活用」（グループディスカッション・スピーチなどを通してのコミュニケーション能力の育成）、
「メディア活用」（新聞やW e bを利用して情報を選択し、理解・活用する力の育成）



＜深川高校＞

海外語学研修（オーストラリア）
現地の高校生との交流会



＜小平高校＞

デンマークの高校生との国際交流



＜片倉高校＞

造形美術コースの制作

※ A L T…外国人英語等教育補助員

※ J E T…米国など海外から若者を招致し、語学指導等を行う指導者として、都道府県や区市町村が任用するもの